

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
**霊峰**  
**「有明山」**  
 24  
 中信森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

**霊峰「有明山」**

JR大糸線松本駅から約三十分北上すると、安曇野の霊峰・信濃富士とも称される有明山(二二六八m)が西方に見え



**有明山**

この参拝登山は、例年七月中旬に実施され、有明山表参道か

ついで、有明山神社(奥社)のみどころは、何と言っても参拝登山にあります。

続いて、有明山神社(奥社)の境内には桜花乱漫と咲き誇る桜が植えられ、花の名所としても知られています。

有明山神社(里社)のみどころは、明治三十四年に「日光陽明門」に模して建てられた「裕明門」、周囲に十二支の彫刻、青銅の隨身二体、白・黒神馬の木彫彩色などがあります。また、境内地には桜花乱漫と咲き誇る桜が植えられ、花の名所としても知られています。

し、やがて有明山神社の里宮を建立し現在に至ったと言われています。

てきます。  
 この場所は、長野県安曇野市と北安曇郡松川村の境に位置する中房(なかぶさ)国有林で、山頂は東西約十km、南北約五〇〇mの細長い介在地となっており、有明山神社と有明山社の奥社が祭られています。  
 有明山神社の由来は、天照大神の籠った岩戸を手力雄命がこの地へ投げ飛ばしたのが霊峰有明山と伝えられ、第八代孝元天皇の五年に造営されたのが、のちの有明山神社とされます。さらに、明治六年に天明行者が今日の表参道からの岩場や谷に挑戦し、多くの困難を克服し頂上に立ち、山頂に有明神社の奥社を安置し、やがて有明山神社の里宮を建立し現在に至ったと言われています。



有明山神社 (奥社・南岳)

ら登り、奥社参拝して、中房温泉へ下山する約十時間コースです。登山道沿いは貴重な高山植物が咲き誇り、頂上からは、安曇平の田園風景が眼下に一望出来るなど絶景続きで、募集による一般参拝登山者が絶えることはありません。  
 本紙を読み、参加ご希望の方は、六月中に有明山神社へ申込みが必要です。



有明山神社 (里社) 裕明門

◇アクセス  
 [自動車の場合]

長野自動車道、豊科インターを出て直進し、国道一四七号線を右へ北上し、「北穂高」交差点から西へ曲がり、約六kmで有明山神社に至る。

[JRの場合]

松本駅から大糸線を北上し「有明」駅にて下車。駅前からタクシーに乗り、約十五分で有明山神社に至る。